就職用研究概要書 2 枚版（架空の記入例）

ソクレキ独自の架空記入例。氏名・所属・研究・業績・授業・数値は実在しません。

氏名	架空 実
所属	架空大学 情報学部 4 年（架空）
研究テーマ	公共施設の案内見出しを対象にした分類手順の検討

背景と課題

施設案内では、手続き名と利用者が探す言葉が一致しないことがある。案内の見出しを点検するための簡単な分類手順を考えた。

研究の目的

見出しが本文の目的を表しているかを、説明可能な基準で分類する。

方法と対象

本人が作成した教材用案内文 12 件を、見出しと本文の対応で「明確」「要確認」「不一致」に分類した。実在施設や利用者は対象にしていない。

本人の担当

本人が例文、判断基準、分類表、集計図を作成した。第三者評価や効果検証は実施していない。

結果と今後の計画

得られた結果・途中経過

架空データ 12 件の内訳は、明確 6 件、要確認 4 件、不一致 2 件だった。見出しの修正が利用者の行動を改善するかは、この分類だけでは分からない。

図と出典

区分	件数	内訳を示す棒
明確	6	■■■■■■
要確認	4	■■■■
不一致	2	■■

図 1 架空の案内文 12 件の分類結果。本人作成の教材データ。

解釈できる範囲と限界

分類結果は本人が作った教材 12 件についての記述である。実在の施設案内や利用者の反応へ一般化できない。

今後の計画

別の例文でも判断基準が使えるか確かめ、必要なら見出し案を見直す。

研究を通じて身に付けたこと

分類表の設計、集計結果と解釈の分離、図による説明。

ソクレキ独自様式｜公募先の公式様式ではありません